

環境経営レポート



2025年5月1日 発行



東海マツダ販売株式会社

取組期間 2024 年1月～ 2024 年12月

目次（環境経営活動レポート）

頁

1. 組織の概要	会社の規模・対象店舗の紹介	③
2. 環境経営に取り組む実施体制（組織図）	エコアクション推進の全社組織図	④
3. 環境取組の実施体制（店舗）	店舗での役割・責任者	⑤
4. 環境経営方針		⑥
5. 環境経営目標	環境経営方針に対する数値目標	⑦～⑧
6. 環境経営活動計画	環境経営目標を達成する為の取組内	⑨
7. 環境経営目標の取組達成結果	目標に対する実績表	⑩～⑪
8. 及び今後の取組内容	環境経営活動の取組結果・評価 取り組みに対する評価コメント	⑫～⑬
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価並びに違反・訴訟等の有無		⑭
10. 代表者による全体の評価及び総括		⑮

組織の概要

1. 事業社名及び代表者

東海マツダ販売株式会社
代表取締役社長 大貫 秀樹 (2021年4月1日就任)

2. 本社所在地

愛知県名古屋市瑞穂区二野町3番18号

3. 事業内容

マツダブランドの乗用車、商用車の新車販売
中古車販売
自動車の部品・用品の販売
自動車整備業（点検・車検・修理等）
損害保険代理業 等

4. 事業の規模

店舗数	愛知県内	三重県内	岐阜県内
	47店舗	14店舗	15店舗

2024年度実績（2024年4月～2025年3月）

	従業員数 (名)	売上高 (百万円)	新車販売台数 (台)	中古車販売台数 (台)
全社	1,459	57,800	11,847	3,750

5. 環境管理責任者及び担当者 (※2024年4月以降)

環境管理責任者	管理本部長 兼 ES推進部長	杉山 晋也
E A 2 1 環境推進事務局	ES推進部 参与	松田 貴司
連絡先	TEL : 052-872-1661 FAX : 052-872-8281 e-ma : matsuda.tak@mazda-dealer.jp	

6. 取組期間

2024年1月1日から、2024年12月31日のデータをまとめております。

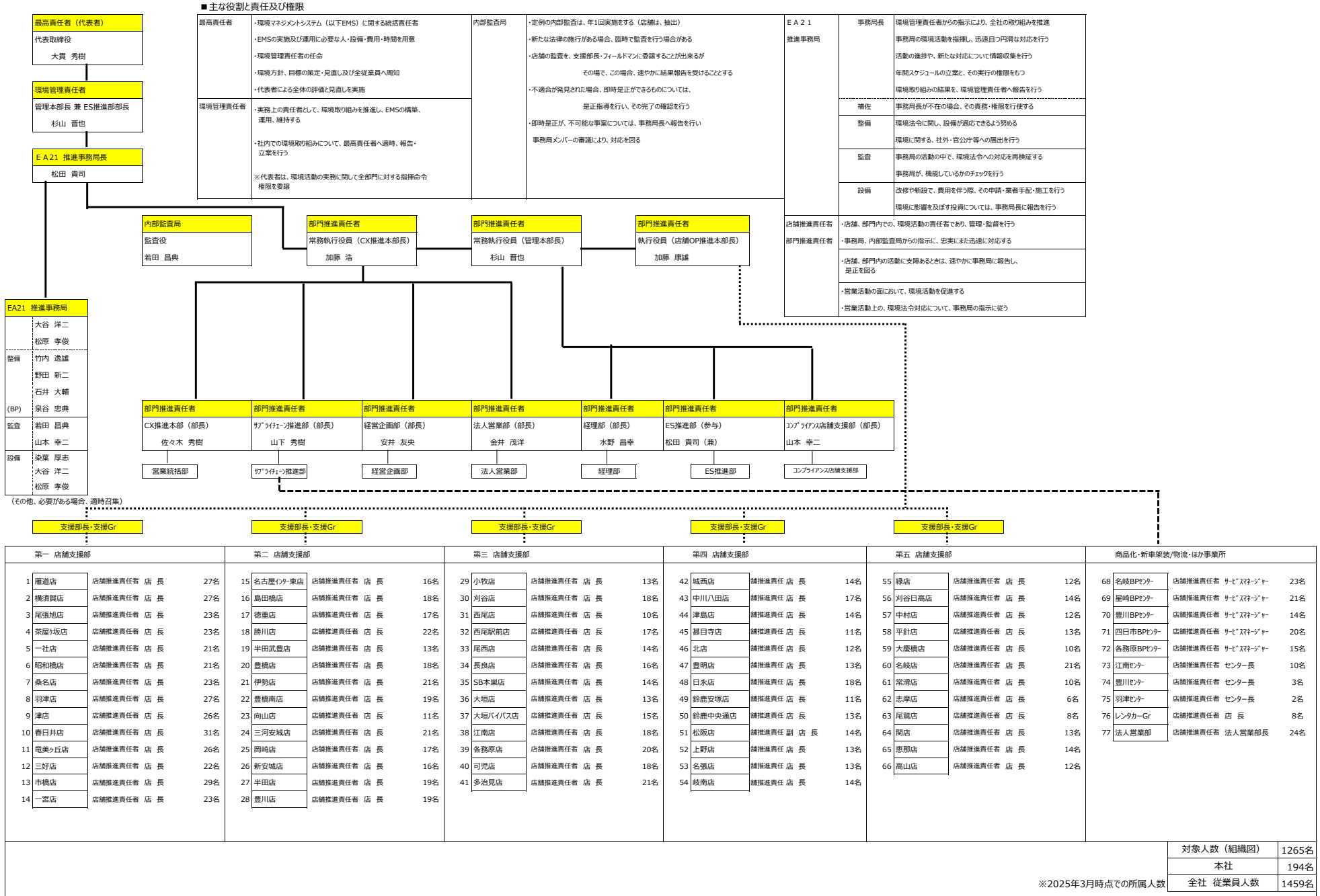
7. 全店舗取組みのスタート

2013年1月より、全社での取り組みをしております。今回のレポートは、【11年目】の実績となります。

当期間中にあつた、施設・設備の変更は、下記のとおりです。

- サービス工場スポットエアコン設置（17店舗）
- LED照明化実施（20店舗）

環境経営に取り組む実施体制（組織図）



環境取組の実施体制（店舗）

環境管理組織表

店舗推進責任者
店長

補佐（環境管理責任者の代行・補佐）
中古車リーダー・サービスMg・店舗事務スタッフ

項目	一般店舗	独立中古車店舗（UL）	本社事務系
電力使用量の削減 ■電力使用量の管理 ■サイン点灯時間の管理 ■照明确灯の管理 ■エアコン設定温度の管理 ・ショールーム ・事務スペース ・休憩室 ■エアコンフィルターの清掃 ■待機電源OFFの管理	—	—	事務担当
	店長	中古車リーダー	—
	店長	中古車リーダー	—
	サービスマネージャー	—	—
	店長	中古車リーダー	事務担当
	店長	中古車リーダー	事務担当
	店長	中古車リーダー	—
	店長	中古車リーダー	事務担当
	店長	中古車リーダー	—
	店長	中古車リーダー	事務担当
化石燃料使用量の削減 ・ガソリン ・軽油 ・灯油	—	—	事務担当
	店長	中古車リーダー	—
	サービスマネージャー	（サービスマネージャー）	—
水道使用量の削減 ■水道使用量の管理 ■水道管理	事務担当	事務担当	事務担当
	店長	中古車リーダー	—
	店長	中古車リーダー	—
	店長	中古車リーダー	—
	店長	中古車リーダー	—
廃棄物排出量の削減 ■裏面用紙の管理 ■コピー機の管理 ■分別排出の管理 ■詰替・グリーン製品の購入	事務担当	事務担当	事務担当
	事務担当	事務担当	事務担当
	事務担当	事務担当	事務担当
	事務担当	事務担当	事務担当
	事務担当	事務担当	事務担当
環境保全の体制 ■油水分離槽の点検、管理 ■油脂類の点検、管理（油脂庫、廃棄オイルタンクの漏れなど） ■緊急時の対応訓練（LLC・オイル漏れ等発生時対応、連絡先の確認） ■緊急対応用品の管理（吸着剤、中和剤等の常備 他） ■化学物質の使用量のチェック ■社員のスキルアップ（教育・資格取得・知識アップ） ■新車商談時の、エコカーの説明 ■法令（市条例）等の情報入手と共有（環境関連法令一覧表参照） ■浄化槽の管理（清掃・保守点検・法定点検の実施） ■環境苦情・問い合わせの対応	サービスマネージャー	（サービスマネージャー）	事務担当
	サービスマネージャー	（サービスマネージャー）	—
	サービスマネージャー	（サービスマネージャー）	—
	サービスマネージャー	（サービスマネージャー）	—
	サービスマネージャー	（サービスマネージャー）	—
	店長	中古車リーダー	—
	店長	中古車リーダー	—
	店長	中古車リーダー	事務担当
	店長	中古車リーダー	事務担当
	店長	中古車リーダー	事務担当
	店長	中古車リーダー	事務担当

環境経営方針

<基本理念>

東海マツダ販売株式会社は、自動車販売・自動車整備などの全ての事業活動において、お客様、地域の皆様を念頭に自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献し、より良い未来社会の実現に向けて取り組んでいきます。

<行動指針>

1. 環境関連法規、および当社が同意する、その他の環境関連要求事項を遵守します。
2. 省エネルギーに努め、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 再使用・再利用活動を推進、節約により、廃棄物の削減及び省資源に努めます。
4. 社内用品の購入は、できるだけ環境への負荷の少ないグリーン購入を推進します。
5. 当社が販売・提供する製品・サービスに関し、環境への配慮を行います。
6. 化学物質の使用量削減に努めます。
7. 全従業員にこの環境方針を周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、公表します。

宣言日 2021年4月1日

東海マツダ販売株式会社

代表取締役社長



環境経営目標

1. 目標設定の基礎（2019年 全社実績）

項目	単位	2019年度	
		2019年1月～12月	CO2排出量
二酸化炭素排出量	kg-CO2		4,835,768
電力使用量	kWh	7,062,077	3,008,445
ガソリン使用量	L	393,443	912,788
軽油使用量	L	329,782	850,838
都市ガス使用量	m ³	17,408	37,601
LPG使用量	Kg	8,699	26,097
水使用量	m ³	47,629	

2019年度の電気事業者別実排出係数の公表より（中部電力：0.426 kg-CO₂/kWh）

※灯油については、業務量により左右されるため上記には含んでおりません。

※钣金塗装工場では、乾燥設備に大量のLPGを使用しておりますが、業務量により左右されるため上記の使用量には含んでおりません。

2019年に、钣金塗装工場等での使用量は、LPG：24,521 kg（CO₂排出量：73,611 kg-Co₂）となります。

2. 中期計画（二酸化炭素 排出量）

項目	単位	2019年度 2019年1月～12月	目標		
			2023年1月～12月	2024年1月～12月	2025年1月～12月
二酸化炭素排出量 (削減率)	kg-CO2	4,835,768	4,754,413 -1.7%	4,739,906 -2.0%	4,730,234 -2.2%
電力使用量 (削減率)	kWh	7,062,077	6,956,146 -1.5%	6,934,960 -1.8%	6,920,835 -2.0%
ガソリン使用量	L	393,443	385,574	384,394	383,607
軽油使用量	L	329,782	323,186	322,197	321,537
小計 (削減率)		723,225	708,761 -2.0%	706,591 -2.3%	705,144 -2.5%
都市ガス使用量	m ³	17,408	17,147	17,094	17,060
LPG使用量 (削減率)	kg	8,699	8,569 -1.5%	8,542 -1.8%	8,525 -2.0%

※灯油については、業務量により左右されるため上記には含んでおりません。

※钣金工場等では、自動車の塗装修理に大量のLPGを使用しておりますが、業務量により左右されるため目標数値には含んでおりません。

3. 中期計画（水資源）

項目	単位	2019年度 2019年1月～12月	目標		
			2023年1月～12月	2024年1月～12月	2025年1月～12月
水使用量 (削減率)	m ³	47,629	46,914 -1.5%	46,771 -1.8%	46,676 -2.0%

4. 中期計画（廃棄物の削減）

可燃ごみ・不燃ごみの削減

2019年1月～12月		2023年1月～12月	2024年1月～12月	2025年1月～12月
(月平均)	(Kg) 7,217	7,072	7,051	7,036
可燃ごみ重量	削減率	-2.0%	-2.3%	-2.5%
(月平均)	(Kg) 1,150	1,127	1,124	1,121
不燃ごみ重量	削減率	-2.0%	-2.3%	-2.5%

混合物・廃プラスチックの削減（2015年1月以降の取り組み）

2019年1月～12月		2023年1月～12月	2024年1月～12月	2025年1月～12月
(月平均)	(Kg) 52,991	51,931	51,772	51,666
混合物重量	削減率	-2.0%	-2.3%	-2.5%
(月平均)	(Kg) 25,749	25,234	25,157	25,105
廃プラスチック重量	削減率	-2.0%	-2.3%	-2.5%

5. 中期計画（グリーン購入）

2019年1月～12月	購入数	5,412	2023年1月～12月	2024年1月～12月	2025年1月～12月
	内エコ商品	3,349	1272.62	1272.62	1272.62
	割合率	61.9%	62.0%	62.0%	62.0%

6. 中期計画（販売提供する製品（商品）の環境配慮）

新車ご購入のお客様には、

全数、エコカーの説明を行う

2023年1月～12月	2024年1月～12月	2025年1月～12月
100%	100%	100%

サービス在庫のお客様へ

環境配慮商品の販売

2019年1月～12月	総販売量	943,858	2023年1月～12月	2024年1月～12月	2025年1月～12月
	内エコ	825,240	99028.8	99028.8	99028.8
エコオイル使用割合		87.4%	88%	88%	88%

バルブクリーナー	……	公害防止装置等を洗浄することで、エンジン性能向上・排気ガス抑制の効果
クーラントフラ	……	熱交換率を向上させ、アイドリングを短縮、オーバーヒートも抑制
トリプルクリーン	……	フューエルインジェクターを洗浄し、パワーロス、燃費悪化を防止
S P-Z	……	エンジン内の金属表面を均一に処理することで、摩擦磨耗が低減、燃費が向上

燃費向上につながる添加剤

2019年1月～12月	総販売量	2023年1月～12月	2024年1月～12月	2025年1月～12月	
バルブクリーナー	年間	12,864本	13,507本	14,150本	14,794本
クーラントフラ	年間	28,536本	29,963本	31,390本	32,816本
トリプルクリーン	年間	6,252本	6,565本	6,877本	7,190本
S P-Z	年間	10,212本	10,723本	11,233本	11,744本

7. 中期計画（化学物質の使用量の削減）

作業ミスによる使用を無くすことで、使用量の削減を目指します。

自動車の塗装においては、作業ミス（塗りなおし）の注意は同様に行い、必要分を推測して作成することで、無駄な使用を削減します

※使用量は、入庫台数・塗装面積により変動がある為、削減目標は、数値化しておりません。

環境経営活動計画

1. 環境関連法規等の遵守

- ・ マツダグループ内で展開中の『MECA 2 1（マツダ環境保護プログラム）』を元に、チェックリストを作成。店舗と事務局の両方で、遵守状況を確認しています。

2. 二酸化炭素排出量の削減・省資源（水）

1) 電力使用量の削減

- ・ 不要な照明の消灯・節電の徹底 屋外照明の消灯時刻の設定
休憩時間の工場消灯
- ・ エアコンに関する事項 冷暖房の設定温度を管理（無理のない温度で）
フィルターの定期清掃（年2回）
- ・ 待機電源OFFの徹底 コンセントのチェック
- ・ 電気を使用する製品の購入は、消費電力を確認

2) ガソリン使用量の削減

- ・ エコドライブの実践 駐停車中はエンジンをストップ
急発進・急加速禁止
効率的な営業活動
- ・ 集合会議を減らし、Web会議化
- ・ E C O オイルの定期交換、エアエレメントの定期清掃交換
- ・ 社用車を、エコカーへ

3) 水使用量の削減（省資源）

- ・ 自動水栓化を進め、手回し蛇口の場合、流量、時間に注意し、必要な分のみを使用
- ・ 水道料金を毎月確認し、漏水がないかをチェック

3. 廃棄物排出量の削減

- ・ 両面・縮小コピーの活用、促進
- ・ 使用済み・ミスコピー用紙の裏面使用の徹底
- ・ コピー使用后、「リセット」ボタンを押す（ミスコピー防止）
- ・ ゴミの分別化の徹底（可燃・不燃・リサイクル）
- ・ デッド部品の発生防止 キャンセル部品の早期返品（誤発注に注意する）
- ・ 整備ミスによる再修理注意

4. グリーン購入

- ・ 事務機器の増設や入替は、グリーン商品を採用
- ・ 事務用品の購入も、環境のマークのある商品を選択

5. 製品（商品）及びサービスにおける環境配慮

- ・ 新車商談時に、お客様へ、エコカーの説明を行う
- ・ 点検時等、E C O 商品の交換を促進
エコオイルは期間を通じ、促進（店頭・DMチラシで、事前に訴求）
燃費向上の添加剤の、販売促進

6. 化学物質の使用量削減

- ・ 使用する化学物質の量を把握し、適正な管理を行う
- ・ 教育（資格の取得）により、無駄な使用を削減

環境経営目標の取組達成結果（対目標）

1. 二酸化炭素排出量の削減・省資源

【評価基準】

- ◎・・・削減が進み、目撃目標達成
- ・・・削減は進んだが、目標を下回る
- △・・・削減できなかった
- （著しい増加は「×」）

・2019年度の電気事業者別実排出係数の公表より（中部電力：0.426 k g -CO2/kWh）
 ・削減率の計算は、「（今回-目標）÷今回」にて行っております

【対象 合計】

評価・・・○	基準値 (2019年)	2024年 1月～12月					使用量 増減 (対目標)	CO2排出量 増減 (対目標)	CO2排出量 削減率 (対目標)	評 価	
		削減率 (目標)	使用量 (目標)	CO2排出量 (目標)	使用量 実績	CO2 排出量					
二酸化炭素排出量	kg-CO2	5,485,479	- 2.0%	4,739,906	4,739,906	4,575,355	-164,551	- 3.60%	◎		
電力使用量	kWh	7,062,077	- 1.8%	6,934,960	2,954,293	6,926,293	2,950,601	-8,667	-0.13%	△	
ガソリン使用量	L	393,443	- 2.3%	384,394	891,794	384,450	891,925	57	131	0.01%	△
軽油使用量	L	329,782	- 2.3%	322,197	831,268	259,849	670,411	-62,348	-160,857	- 23.99%	◎
都市ガス使用量	m ³	17,408	- 1.8%	17,094	36,924	17,438	37,665	343	742	1.97%	△
LPG使用量	kg	8,699	- 1.8%	8,542	25,627	8,251	24,752	-292	-875	- 3.53%	◎
水 使用量	m ³	47,629	- 1.8%	46,771		42,795		-3,977		- 9.29%	◎

※灯油については、業務量により左右されるため上記には含んでおりません。

※水は使用量の削減率

※钣金塗装工場では、乾燥設備に大量のLPGを使用しておりますが、業務量により左右されるため上記の使用量には含んでおりません。

この期間中に、钣金塗装工場等での使用量は、【LPG：24,946 k g（CO2排出量：74,837 k g-Co2）】となっております。

2. 廃棄物排出量の削減

可燃ごみ

評価・・・○

対前年	2024年	2024年実績
2024年目標 5,929 Kg/月	1～4月 5,459 Kg/月	2024年実績 5,669 Kg/月
前年度 6,068 Kg/月	5～8月 5,625 Kg/月	対目標達成 104.6 %
	9～12月 5,921 Kg/月	対前年増減 - 6.6 % (減少)

不燃ごみ

評価・・・△

対前年	2024年	2024年実績
2024年目標 2,050 Kg/月	1～4月 4,538 Kg/月	2024年実績 4,669 Kg/月
前年度 2,098 Kg/月	5～8月 5,175 Kg/月	対目標達成 43.9 %
	9～12月 4,294 Kg/月	対前年増減 122.6 % (増加)

産業廃棄物

評価・・・○

対前年	2024年	2024年実績
2024年目標 42,450.6 Kg/月		2024年実績 39,622.0 Kg/月
前年度 43,449.9 Kg/月		対目標達成 107.1 %
		対前年増減 - 8.8 % (減少)

対前年	2024年	2024年実績
2024年目標 22,093.2 Kg/月		2024年実績 30,730.1 Kg/月
前年度 22,613.3 Kg/月		対目標達成 71.9 %
		対前年増減 35.9 % (増加)

3. グリーン購入

全社事務用品

評価・・・○

『エコマーク商品』のみではなく、『詰替商品（ホ-ルマ>替芯）』もカウントしています

2024年目標	(購入数)			2024年実績
	(内工)	(割合)		
62.0%	1～4月 1,301	719	55%	2024年実績 56.9%
	5～8月 1,188	736	62%	対目標達成 91.8%
前年度 55.8%	9～12月 1,284	693	54%	対前年増減 2.0 % (増加)

4. その他達成状況

販売提供する製品（商品）の環境配慮

エコカー

評価・・・◎

- ① 年式の古いお車にお乗りの方に、燃費等の切り口で、代替提案をする
- ② 商品説明の際には、必ず、環境配慮の説明を行う（カタログ）

エコオイル

評価・・・○

サラサラの低粘度オイルで、エンジンに余分な負担をかけず、エンジン性能を引き出すことができます

	総販売量	エコオイル	割合
2017年1月～12月	535,939 ㊦	469,640 ㊦	目標 70% 87.6%
2018年1月～12月	546,644 ㊦	451,520 ㊦	目標 70% 82.6%
2019年1月～12月	943,858 ㊦	825,240 ㊦	目標 70% 87.4%
2020年1月～12月	912,618 ㊦	811,120 ㊦	目標 70% 88.9%
2021年1月～12月	508,583 ㊦	447,120 ㊦	目標 70% 87.9%
2022年1月～12月	501,462 ㊦	444,820 ㊦	目標 70% 88.7%
2023年1月～12月	351,716 ㊦	301,020 ㊦	目標 88% 85.6%
2024年1月～12月	296,796 ㊦	252,540 ㊦	目標 88% 85.1%

※「エコオイル」は、ガソリンエンジン対象のため、「総販売量」は、ガソリンエンジン用オイルの販売量です

添加剤の販売

評価・・・○

- ハルバクリーン …… 公害防止装置等を洗浄することで、エンジン性能向上・排気ガス抑制の効果
- クーラトプラス …… 熱交換率を向上させ、アイドリングを短縮、オーバーヒートも抑制
- トリプルクリーン …… フューエルインジェクターを洗浄し、パワーロス、燃費悪化を防止
- S P-Z …… エンジン内の金属表面を均一に処理することで、摩擦磨耗が低減、燃費が向上

	ハルバクリーン	クーラトプラス	トリプルクリーン	S P-Z
2017年1月～12月	1,095 本/月	2,405 本/月	576 本/月	803 本/月
2018年1月～12月	1,001 本/月	2,365 本/月	511 本/月	825 本/月
2019年1月～12月	1,072 本/月	2,378 本/月	521 本/月	758 本/月
2020年1月～12月	1,109 本/月	2,632 本/月	463 本/月	851 本/月
2021年1月～12月	1,107 本/月	2,638 本/月	439 本/月	987 本/月
2022年1月～12月	1,015 本/月	2,535 本/月	337 本/月	1,061 本/月
2023年1月～12月	994 本/月	2,387 本/月	164 本/月	1,032 本/月
2024年1月～12月	872 本/月	2,185 本/月	48 本/月	1,006 本/月

化学物質の使用量削減

評価・・・◎

資格の取得（レベルアップ）による、作業ミスの撲滅

国家整備士1級合格

2015年12月現在	39名	(1名増加)
2016年12月現在	41名	(2名増加)
2017年12月現在	42名	(1名増加)
2018年12月現在	42名	
2019年12月現在	42名	
2020年12月現在	39名	(3名減少)
2021年12月現在	45名	(6名増加)
2022年12月現在	48名	(3名増加)
2023年12月現在	51名	(3名増加)
2024年12月現在	51名	

現2級	現3級
535名	45名

マツダ資格合格

	A級	B級	C級	資格アップ
エンジニア資格	0名	7名	6名	13名
ペーパー資格	7名	61名	7名	75名

マツダ資格合格

	A級	B級	C級	D級	資格アップ
ボディ資格（钣金）	1名		4名		5名
ペイント資格（塗装）	1名		2名		3名

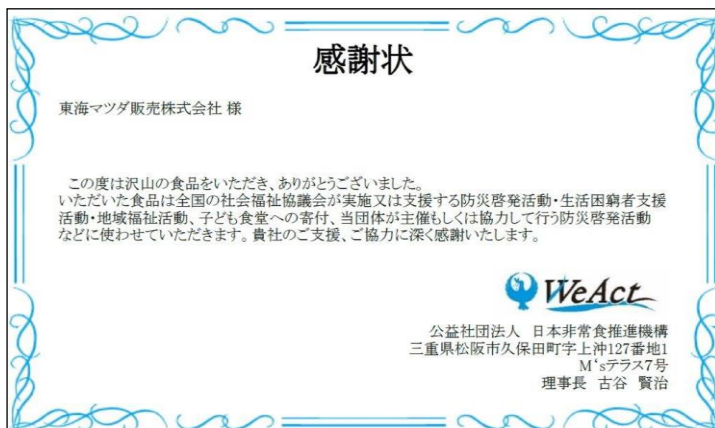
(参考)

LLC（クーラント）の購入量	2017年1月～12月	2018年1月～12月	2019年1月～12月	2020年1月～12月	2021年1月～12月	2022年1月～12月	2023年1月～12月	2024年1月～12月
	25,574 ㊦	23,020 ㊦	27,002 ㊦	23,636 ㊦	21,340 ㊦	21,732 ㊦	22,666 ㊦	21,976 ㊦

環境経営計画の取組結果・評価

● 防災備蓄品の寄付

- ・ 当社防災備蓄品を更新した際、既存品についてはNPO団体を通して、9つの団体（子供達や就労支援団体等）へ寄付をし、多くの方々より感謝のお言葉をいただきました。



1. 環境関連法規等の遵守

- ・ 法令全般に係る社内の監査部門にて、環境関連法令等を含む【eラーニング】を週に一度実施し、以前から活用している「監査シート」も組み合わせしており、主体的な環境への取組みを促進しています。
- ・ 定期的な業務エアコン点検において、社内システムを利用した様式に作り変えたことで、順調に点検が実施できています。

2. 二酸化炭素排出量の削減・省資源

1) 電力使用量の削減

- ・ 電力使用によるCO2排出量は、目標に対して【-0.13%】の削減となりました。
- ・ 業務改善を行っており、業務効率を向上させ、不要な電力使用の削減に努めています。
- ・ 照明のLED化、空調機の更新などを順次行っており、設備に関する電力使用の削減にも取り組んでいます。

2) ガソリン、軽油使用量の削減

- ・ ガソリン使用によるCO2排出量は、目標に対して【0.01%】の増加となりました。
- ・ 軽油使用によるCO2排出量は、目標に対して【-23.99%】の削減となりました。

3) ガス使用量の削減

- ・ 都市ガス使用によるCO2排出量は、目標に対して【1.97%】の増加となりました。
- ・ LPG使用によるCO2排出量は、目標に対して【-3.53%】の削減となりました。

3) 水使用量の削減

- ・ 水の使用量については、目標に対して【-9.29%】の削減となりました。
- ・ ほとんどの用途は「洗車」での使用となりますので、ホースにストップノズルを取り付けて、【必要な時に】・【必要な量を】のムダな使用を控えるように心がけています。

1. 環境関連法規

環境関連法令	法令要求事項	法令適合状況
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理	適合
循環型社会形成推進基本法	循環資源の適正な循環的利用	適合
P R T R 法	特定化学物質の排出量・移動量の把握 (第1種指定化学物質の年間取扱量1t以上の事業所は届出対象)	該当せず
下水道法	特定施設の届出 (自動式車両洗浄施設・油水分離槽)	適合
水質汚濁防止法	特定施設の届出 (自動式車両洗浄施設・油水分離槽)	適合
騒音規制法	特定施設の届出 (コンプレッサー・室外機)	適合
振動規正法	特定施設の届出 (コンプレッサー・室外機)	適合
生活環境の保全等に関する条例 (騒音関連・振動関連)	特定施設の届出 (室外機)	適合
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理	適合
家電リサイクル法	特定家電製品の適正な廃棄	適合
建設リサイクル法	対象建設工事 (解体・新築) の届出	適合
フロン排出抑制法	業務用エアコン等フロン製品の定期点検と適正処分 機器点検 (簡易定期点検・定期点検)	適合
資源の有効な利用の促進に関する法律	パソコンやバンパー等のリサイクル化	適合
工業用水法	特定地域での井戸水使用の届出・報告	適合
省エネ法	全社エネルギーの使用量の報告	適合
消防法	危険物取り扱い作業及び少量危険物貯蔵所の届出 消防設備点検結果報告	適合
浄化槽法	保守点検・清掃及び法定検査	適合

環境関連法規の対応について、事務局での確認に加え、各店舗の店舗推進責任者が行うチェックリストにも項目を設け、店舗でも法令の理解の推進を図るとともに、全社での法令順守意識を高めています。

2. 違反・訴訟の有無

当社は、環境関連法規の違反や訴訟は発生しておりません。

また、環境当局からの違反等の指摘は、過去5年間1件もありません。

代表者による全体の評価及び総括

対象事業所	全店舗
活動期間	2024年1月～2024年12月

作成者	杉山 晋也（環境管理責任者）	
見直し 関連 情報	項目	評価・コメント
	1 エコアクション21文書	特に無し
	2 環境目標及び目標達成状況	特に無し
	3 環境活動計画及び取組実施状況	特に無し
	4 環境関連法令一覧表及び遵守状況	特に無し
	5 外部コミュニケーション・対応記録	特に無し (該当事案なし)
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	特に無し (期間中の是正報告を確認。継続をする)
	7 取引先・業界・関係行政機関その他の外部動向	特に無し
8 その他	特に無し	

評価者	代表取締役社長 大貫 秀樹	実施日	2025年4月28日
-----	---------------	-----	------------

全体評価・コメント

社員一人ひとりが『お客さま視点で・正しく・安全に・主体的に』働くことを方針とした人財の育成をしています。環境への取組においても、この方針に沿った活動が行えるよう、これからも努めていきます。そして環境に優れた商品の提供を通して、お客様とともに一層の環境配慮を継続していきます。

	見直し項目	変更の必要性	コメント
1	環境方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	(2017年4月変更済みです)
2	環境目標	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	(特になし)
3	環境活動計画・取組項目	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	(特になし)
4	環境に関する組織	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	(現在の組織を継続)
5	その他のシステム要素	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	(特になし)
6	その他（外部への対応等）	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	(特になし)